

教団新報

定 価 1 部 144 円 (本 体 133 円 千 共 206 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,150 円
紙 代 の み 3,600 円
振 替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546、FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 長 崎 哲 夫
編集主筆 渡 邊 義 彦
印刷所 株式会社きかんし



静岡教会 (東海教区中静分区)

メッセージ

御言葉に従う時に

イザヤ書 2 章 1 節～22 節



佐々木美知夫

自分ではなく、主を中心にして

私たち人間はいつも自分を
中心に置き、自分の思い
や考えで物事を受け取るも
のです。それゆえ人間関係
に於いても、相手よりも自
分の方からの関わりが中心
となります。敢えて自分を
抑え、他者の思いに従う時
でさえ、自分がそうするの
だ、と思っているのです。

新約聖書ルカによる福音
書 5 章の初めに、主イエス
がカリヤ湖の漁師たちを
弟子にした時の出来事が記
されています。主イエスは
シモンに「沖に漕ぎ出して

網を降ろし、漁をしなさい」
と言われたのです。シモン
は「先生、わたしたちは、
夜通し苦労しましたが、何
もとれませんでした。しか
し、お言葉ですから、網を
降ろしてみましよう」と答
えます。主の言葉に従うシ
モンの謙遜さを感じる場面
です。

しかし、原文では「あな
たの言葉のゆえに、私は網
を降ろしましよう」と書い
てあるのです。ここは確か
に「私」シモンが文章の主
語です。シモンが敢えてそ
う言ったことを示します。
「もはや魚がとれる時間では
ないのですが、あなたの
言葉を重んじ、漁師の私が
敢えていたします」という
ことです。また自分の方か
らの関わりが中心なので
す。そのシモンが大漁の奇
跡に出会って「自分は罪深
い者」と告白します。神の
力を表す主の前に、立ち得
ざる自分を見出したからで
す。そしてイエス様を「主
よ」と呼ぶのです。その主
は聴いた事を自分がどう思
うか、どう受け取るかを問
われていません。お言葉で

すから、私が……しまし
う」ではなく、「主がこの
ように語られ、このように
為さる、それをそのまま聴
くのです。そして罪人の私
たちを救うためにやがて主
イエスを遣わされる神の御
心を受け取るのです。

今日の御言葉には、終末
の日が語られます。2 節に
「終わりの日に」、12 節に
「万軍の主の日」とありま
す。そして「その日には」
が繰り返されます。終末の
日」とは遙か遠い日のよう
に感じますし、自分には関
係ないように思ってしまう
ます。しかし神は、私たち
を終末の日に関係ある者と
されたのです。つまり御自
分の備える完成の日に私た
ちを向かわせ、その約束に
与らせるのです。これは私
たちがそれをどのように解
釈し、受け取るかという事
柄ではなく、神の宣言であ
り、また見ぬ事実としての
神の御業なのです。

言葉を換えれば、地上の
生涯を終えたその人に、な
お神にある将来を見るから
です。これは私たちの考え
てくださるのです。

や思いで成り立つ事柄では
ありません。神の救いの宣
言をそのまま受け取ってこ
そ事実となります。終わり
の日が来る、万軍の主の日
が臨む。預言者も私たちが
この日に向かっていているこ
をはっきりと示します。

終わりの日、二つの姿

さて、この御言葉では、
その「終わりの日」が二つ
の姿をもって示されます。
一つは 2～5 節の姿であ
り、今一つは 6～22 節の姿
です。

前者は終わりの日の驚く
べき平和を語り、ミカ書 4
章 1～3 節と殆ど同じ言葉
です。今から 2700 年以
上も前に、預言者たちは今
日の私たちでさえ望み得な
い壮大な平和を主にあって
語っているのです。これは
人間の思いでなく、神の御
業として示され、神の力に
よって成し遂げられること
です。終わりの日は、主の
栄光が確立され、すべての

者がその愛の支配を賛美
し、主の道を歩む時なので
す。神の備える救いがこ
こに示されます。

ここには「満たす」とい
う言葉が繰り返されます。
富と力に満たされると共
に、人間の思いが満ちてい
たのです。「私たちがとい
う思いが中心にあり、「国は
偶像に満ち、人間が目ら作
った物にひれ伏しているの
です。与えられた神さまと
の関わりに立たず、その位
置を失い、自らを事物の下
に置いていたのです。

ここに「万軍の主の日が
臨む」と告げられます。そ
の時、高ぶる者は低くされ、
「偶像はことごとく滅び
る」のです。偶像は「意味
のない物」という言葉でも
あり、「滅びる」は「過ぎ去
る」という意味を持ちます。
つまり、「本来意味のないも
のはことごとく過ぎ去って
しまふ」ということです。
12～16 節までに原文では
「すべての……上に」主の
日が臨む、という言い方が
10 回も繰り返されます。人
の思いが満ちるすべてに、
神の支配と裁きが臨むので
す。その時、意味のない偶
像や事物は投げ捨てられ、
被造物に過ぎない人間の思
いは捨てられるのです。だ
から今の時を神の御心で歩
むのか、人間の思いで歩む
のか、人間の思いで歩む
のかという警告が示されま
す。

この神の御心を信仰によ
って受け取る民は、自分が
今どこに立つのか、どこに
向かうのかを知り、現在を
しっかりと生きる者となり
ます。私たちは今イエス・
キリストによって救われ、
永遠の命に生きる者となり
ました。将来と希望に生き
る者はそこから全てを捉
え、意味ある時を知るので
す。

(第 39 総会期教団総会
副議長・静岡教会牧師)

警告するのは、神の御心

副議長・静岡教会牧師)

副議長・静岡教会牧師)

▼在日韓国朝鮮人連帯特設委員会▲

ヘイト・スピーチ「国際会議」開催を計画

1月5日、教団総幹事室で39総会期第1回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会が開催された。初回の委員会であるため組織を整え、委員長に小橋孝一、書記に宮本義弘を選出した。その他の委員は、長山信夫、深谷春男（以上教職）、中寫曉彦（信徒）である。

また、長崎哲夫総幹事が陪席し、挨拶があり、協議にも加わった。

最初に、委員会の方針と任務を確認した。この委員会は、常議員会の下にある特設委員会なので、常議員会の意向を踏まえて活動する

という従来の方針を踏襲することを確認し、任務として在日大韓基督教教会付属の在日韓国人問題研究所（RAIK）と連帯し、具体的には「外国人住民基本法の制定を求める全国ギリスト者連絡協議会（外キ協）」に関係する集会、並びに「全国ギリスト学校人権教育研究協議会」主催の人権セミナーへの委員の派遣をしていくことが確認された。

そして、早々に開催される「第29回外キ協全国協議会」（1月29～31日、於：北九州小倉・西南KCC）

また、今夏には全国ギリスト学校人権教育研究協議会主催「人権セミナー」（8月18～19日・恵泉女学園大学）が開催されるので、委員の派遣を決定したが、人選は今回の委員会で行われる。

今回の委員会で大きな課題となったのは、在日大韓基督教教会がヘイト・スピーチと戦うために今年11月18～21日に在日大韓YMCA

◆第4回 九条世界宗教者会議◆

「九条世界宗教者会議」と改名し開催

12月3日～5日、在日大韓YMCAで「憲法九条と世界の平和を主題に」ナショナルリズムをどう超えるか」を副題に掲げ、第4回九条世界宗教者会議が開催された。

第3回までは「九条アジア宗教者会議」だったが、今回から「九条世界宗教者会議」と名を改めた。

ア宗教者会議」だったが、今回から「九条世界宗教者会議」と名を改めた。プロテスタント諸派、カトリック、仏教、新宗連（立正佼成会など）、イスラムなどの宗教者が、日本、韓国、中国、香港、フィリ

ピン、タイ、マレーシア、ミャンマー、オーストラリア、コンゴ、ノルウェー、スイス、ドイツ、カナダ、米国などから約120名集まり、憲法九条の世界平和のための重要性を確認した。海外からの参加者は1日

に来日、2日は横須賀基地・厚木基地、3日朝は千鳥ヶ淵墓苑と靖国神社を視察。3日午後から本会議開会。小橋孝一NCC議長長の主催者挨拶と祈禱の後、高橋哲哉氏（東京大学教授）の基調講演「右傾化する日本

Aを会場にして「第3回マインロティ問題と宣教戦略国際会議（主題「ヘイト・スピーチとたたかい、和解と共生の天幕を広げる」）の開催を計画しており、日本基督教団にもこの会議の開催を求められていることである。委員会としてこの

求めにどのように応答するかが話し合われ、常議員会にその判断を打診することとなった。

今回の委員会は、6月26日に開催することを決め、委員会を閉じた。

（宮本義弘報）



狭いナショナリズムを越え、九条の精神にならう

《第39回教団総会》主な総会議事結果

- 《承認》
- 7. 教団総会常任委員選任に関する件 「会計監査」
 - 8. 宗教法人「日本基督教団」責任役員選任に関する件 「責任役員」石橋秀雄、佐々木美知夫、雲然俊美、長山信夫、高橋潤、岡本知之、岡田義信
 - 「会計監査」 服部能幸、奥山盾夫
 - 12. 常設委員会および常設専門委員会委員選任に関する件 「選考委員」石橋秀雄、佐々木美知夫、雲然俊美、保科隆、高橋和人、高橋潤、藤掛順一、篠浦千史、鈴木功男、河田直子

- 13. 宣教研究所委員選任に関する件 「選考委員」同
- 15. 2014年秋季教師検定試験合格者承認に関する件
- 16. 2012年度教団歳入歳出決算承認に関する件
- 17. 2013年度教団歳入歳出決算承認に関する件
- 20. 2012年度部落解放センター決算承認に関する件
- 21. 2013年度部落解放センター決算承認に関する件
- 23. 2012年度出版局決算承認に関する件
- 24. 2013年度出版局決算承認に関する件
- 25. 2012年度年金局決算承認に関する件

- 26. 2013年度年金局決算承認に関する件
- 27. 2014年度年金局財務計画承認に関する件
- 28. 2015年度年金局財務計画承認に関する件
- 29. 教区活動連帯金を廃止する件
- 30. 伝道資金規則制定に関する件（修正案可決）
- 32. 「改定宗教法人法」の再改定を求める要望書

- 33. 教区活動連帯金を推進する件
- 34. 2014年度教団歳入歳出実行予算に関する件
- 19. 2015年度教団歳入歳出原予算に関する件
- 22. 2014年度部落解放センター予算に関する件
- 29. 教区活動連帯金を廃止する件
- 30. 伝道資金規則制定に関する件（修正案可決）
- 32. 「改定宗教法人法」の再改定を求める要望書

- 42. 日本基督教団として特
- 43. 日本基督教団として特
- 44. 常議員の選挙方法に関する件（信徒・教職各7名連記）
- 47. 教区活動連帯金を廃止する件」と「伝道資金規則制定に関する件」の審議に関する件
- 48. 教規第1条第3号の改正に関する件
- 9. 出版局理事・監事承認

- 10. 年金局理事・監事承認に関する件
- 11. 部落解放センター運営委員選任に関する件
- 14. 教団関係学校及び関係団体理事・評議員等推薦に関する件
- 52. 第39回日本基督教団総会議事録承認に関する件
- 53. 第40回日本基督教団総会議事録承認に関する件
- 31. 北村慈郎教師の「免職処分」を撤回し、教団内に聖餐の在り方について慎重かつ十分な議論をする場の設置を求める件
- 35. 同性愛者をはじめとするセクシュアル・マイノリティ差別問題に関する件
- 36. 日本基督教団と沖縄キ

- 37. 「戦争の出来る国づくり」へと突き進むものとする日米両政府に対して、軍事力によらない平和を実現する為に、軍事力の強化に反対し軍事基地撤廃の取り組みを推進する件
- 38. 教規61条の改正に関する件
- 39. 北村慈郎元紅葉坂教会教師の「免職処分」を撤回し、教団内に聖餐の在り方について慎重かつ十分な議論をする場の設置を求める件
- 40. 「改訂宣教基礎理論（草案）」の撤回を求める件
- 41. 沖縄教区規則変更に関する件

- 43. 教団から各教区（支区）に委託される准允式・按手礼式に於いて日本基督教団信仰告白を唱和告白することを確認する件
- 45. 日本伝道の推進をふまえて、沖縄教区との関係回復に関する件
- 46. 沖縄教区からの沖縄教区規則の改定申請承認を、教団総会議長に命ずる件
- 49. 日本基督教団として集団的自衛権行使に反対する声明に関する件
- 50. 「集団的自衛権行使容認」及び「憲法解釈の変更」への反対表明に関する件
- 51. 日本国政府が行った集団的自衛権の行使容認の閣議決定に反対する件

東日本大震災関連連記念行事日程

- 《東北教区》
- 3・11東日本大震災記念礼拝
- 3月11日（水）午後1時、福島教会
- 《関東教区》
- 東日本大震災記念礼拝
- 3月11日（水）午後1時30分、伊勢崎教会
- 《奥羽教区》
- 東日本大震災4年を覚えての礼拝
- 北西地区 3月14日（土）午後2時、東奥義塾高等学校礼拝堂
- 北東地区 3月8日（日）午後2時、大三沢教会
- 岩手地区 3月8日（日）午後2時30分、宮古教会
- ・新生金石教会・千厩教会（予定）
- 秋田地区 3月4日（水）午後6時、秋田高陽教会

荒野声

かの先輩牧師から「荒野の声、苦勞してるね」と、再度声を掛けてもらった。新報をよく読んでくれている証し、とありがたき助言を聞いた。苦言、批判、非難とあまり動揺の振幅が振れなくなつた。鉦くなったのか、図太く、顔の皮が厚くなったのか。慢心でないことを祈るばかりだ。▼パウロは、神の武具を身に付け、帯を締め、胸当てを付け、しかりと履物を履き、盾兜、剣を取れ、と言った。実際の鎧ではない、実際の剣ではない。堅牢な鋼や皮で出来た武具を身に着けずとも立つていられるのは、キリストの臨在と聖霊の内住を得ている者たちの実感でなからうか。空っぽの胸は吹きまぐる風に右往左往するが、満たされた胸は風を耐えるしなやかさ、強さを持つ。強かな足は、歩でも前に福音を運ぶ。▼けれども、その強さは、世界を動揺させるような原理主義者たちの持つ破壊的、暴力的な力ではない。教会は十字架にあげられたキリストを仰いできた。人の貧しさにまで、神の御子が身を低くしてくださったことを信じてきた。人の力は、そこに全く無に帰したことを覚えてきた。人の誇りも絶望も、十字架は終わりを告げている。▼受難節を迎える。高ぶりを打ち砕かれて、落ち込んでゆく魂を高く引き上げていただいて、良き悔い改めの季節を過ごしたいと願う。



台南市シラヤの緑谷自然園で

東日本大震災被災地 冬のプログラム

台湾・第3回キャンプ実施

2015年、新年明けてすぐの1月4日～7日まで第3回こひつじキャンプin台湾が実施され子ども13名、保護者7名、スタッフ5名の計25名が参加した。

最初に渡された行程表に私は驚いた。2日目のプログラムでは10時～12時「遊覧船での自然観察と浜辺での水遊び」、13時～17時30分「公園での自由遊び」というような大枠のプログラム立てだったからだ。子どもたちが飽きるのでは、という私の心配をよそに、汗ばむほどの陽気の浜辺で子どもたちは砂遊びをし、打ち寄せる波の水しぶきを楽し

み、かにを捕まえては掘った潮だまりに入れて眺めていた。

午後からの4時間半はドッチボール、サッカー、バスケットボールと一つのボールで屋外コートを縦横無尽に駆け回り、鬼ごっこ

をして遊ぶ。広場ではボール遊び、凧あげ、シャボン玉飛ばしだ。初めて会う子ども同士でも外遊びを通してすぐに打ち解けている。

「見て！こんなに葉っぱ集めたの」。6歳の女の子がビニール袋に集めた葉を見せにきたが私の反応は鈍かった。それを見てお母さんが私にほつりと声をかけて欲しい。こひつじキャンプにかけの思いの大きさを

か。心配を口にした子どももいたが、口碑小学校とスポーツ交流した時の喜び一杯の笑顔に「ここには国境はない」という羅仁貴議長

の言葉を実感した。
今回、台湾基督教長老教会、台南中会、宿舍を提供して下さった左鎮教会の皆様

仙台・仮設自治会と共に準備、開催

エマオ仙台がずっと関わっている七郷中央公園仮設住宅で、12月20日クリスマス会が開かれた。クリスマス会を手伝うのは、今回で3回目になる。

60世帯規模の仮設に現在

住んでいるのは24世帯50名で、これが年明けにはさらに20世帯まで減る。仙台では少しずつ仮設から復興住宅への移動が始まっている。2015年度中にはほとんどの方が仮設を離れるこ

ろになりそうの中、これが最後のクリスマス会になるかもしれないというのが、仮設の方々の思いだった。自分たちだけではなく、隣のもっと小さな仮設である荒井7号公園仮設住宅と

石巻・子どもたちに遊び場を

エマオ石巻は、事務所のある地域の小学生たちを対象にした「いしのまきっこ広場」を毎月開いている。

石巻では仮設住宅に住む子どもたちに遊び場がなかったり、元の生活に戻った家族も親御さんが生活再建のために手いっぱいだった。地域の公園が津波被害からいまだ復旧できていなかったりといった事情があり、子どもたちの遊び場となればとの思いから開かれている。

夏休みや冬休みには数日間の特別プログラムも組む。その第16回目を2014年12月24～26日毎午後、釜会館という近所のコミュニティセンターで開いた。

各日13～18名の子どもたちが参加した。スタッフ3、4名のほかにボランティアワーカーも4名かけつけた。3日間とも前半は冬休みの宿題をやり、後半はスナックとワーカーがアイデアを出しあって準備した企画を行った。

1日目は、つたのリースに木の実やドライフラワ

ー、クレープ紙などを自由に飾りつけた。
2日目はクリスマス会として、クリスマスプレゼン



七郷中央公園仮設住宅のクリスマス会でサンタクロースが現れる

荒井2号公園仮設住宅、そして仮設を出た方や近隣に住む借り上げ仮設に住む方々にも声をかけた。仮設自治会とエマオでの準備には2ヶ月をかけた。

当日、知的ハンディを持つSさんがサンタクロース役をした。笑顔をキラキラ輝かせてSさんが「おめでとう」と言いながら一人一人にプレゼントを手渡し

た。一杯になった集会所に、神さまからの深い祝福が溢れていた。
（佐藤真史報）
エマオ仙台専従者

だった。
子どもたちは部屋の外問わず元気いっぱい走り回り、笑い声溢れる3日間だった。被災経験をそれぞれ

に抱えた子どもたちがたくましく生きる姿に希望を感じたクリスマスだった。
（深谷有基報）
エマオ石巻専従者



釜会館コミュニティセンターでのクリスマス会

監査委員会

新旧委員会合同にて引き継ぎ

2014年11月19日に、第39総会において選任された監査委員3名(服部能幸・神奈川教会、奥山盾夫・東京教会、辻康・中部教会)と

引継ぎ事項として、公認会計士(任意) 監査の必要

の有無について、また、経理規定等の整備による内部統制の一層の確立の急務であることなど多くの意見が述べられ、新旧の委員で共有することができた。

また、今期の重要な課題としては、引き継ぎ、東日本大震災特別会計が重要な関心であることに変わりが

確認された。その上で、12月11日の当該監査において

（服部能幸報）

事務局報

中村 博氏 (隠退教師)

補教師登録

相原 聡

(2014.11.29受允)

和田芳子

(2014.12.14受允)

正教師登録

齋藤朗子

(2014.11.9受按)

羽島健司、羽島戴意

(2014.11.29受按)

守屋彰夫、貴田直樹

今井このみ、今井孝司

上山耕平、江口裕子

加藤太朗、川江友二

山下壮起、相見宗郎

(2014.11.30受按)

大宮克己、金 修 貞

田中從子、山畑 譲

荻野英夫、菊田行佳

秦 貴 詞

(2014.12.1受按)

武井恵一、池田慎平

(2014.12.2受按)

知花スガ子、長尾有起

藤野雄大、吉田誠二

(2014.12.14受按)

教師異動

下館 就(担)相原 聡

砧 辞(代)秋葉正二

〃 就(主)金井美彦

藤沢北 辞(代)澤田 隆

〃 就(代)鳥羽徳子

札幌北光 辞(主)後宮敬爾

〃 就(代)高濱心吾

霊南坂 辞(代)吉岡恵生

〃 就(主)後宮敬爾

教会所在地変更

高知中央

〒780-0004 高知市

前里362-1

出版局ニュース

カトリック司祭井上洋治の思索をまとめた『井上洋治著作選集』が刊行開始。書き下ろし解説や対談などの記事が追録された新装復刊となる4作に、新作の遺稿集を加えた全5巻構成。詳しくは出版局ホームページの特設サイトをご覧ください。
<http://bp-uccj.jp>

